



TOCO-TON 明科

No. 48 R7. 12. 9 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明北小 『5年生が進める全校音楽』 11月12日（水）



子どもを真ん中にして、子どもならではの発想を大事にする音楽集会にチャレンジしています。前回は、6年生が企画した『幸せなら手をたたこう』を全校で楽しみました。今回は、5年生が、音楽の時間や学びタイムを利用して、企画の相談をしました。曲は、音楽専科の先生とも相談し、『翼をください』になりました。

全校集会当日の目標は「きれいな声でハモらせて歌う」に決めました。前週には、子どもたちが各教室に出向き、クラスの歌声を聴いて、アドバイスもしてきました。

各クラスを回ってきた子どもたちは、聴いて感じたことを出し合ってまとめました。特に「さびの入りの『この大空に…』の部分をきれいな二部合唱で歌いたい」「最後の部分の『…翼はためかせゆきたい』の部分の音が取れるようにしたい」という願いを持って全校音楽に臨みました。練習の仕方も子どもたちが相談して考えました。

集会当日、最初に、低音・高音（1～3年高音、4・6年が低音、5年生は両方）に分かれ、低音・高音メンバーそれぞれが円になり、向かい合ってパート練習を行いました。5年生が後ろに立って声を聞かせながら歌ったり、学年で歌ったりする工夫もありました。

最後に、5年生児童の指揮により、全校で合わせて歌いました。5年生が目標にしていたように、低音と高音がきれいな声で混ざり合い、心をこめて『翼をください』の歌を歌うことができました。ふり返りでは、「高音と低音がキレイに混ざってよかったです。」「〇年生の声がきれいでした。」等の感想が出されました。

次回 12月17日（水）は、4年生が先頭に立って「クリスマスソング」を歌う予定です。



2 明北小5年理科『電磁石のはたらき～自由進度学習を取り入れて～』12月1日(月)

11月10日(月)の園小中高研修会の中で、明北小の教頭先生の研修報告「子どもに委ねる学び～石川県加賀市の取組から～」がありました。5学年担任は、理科の授業で、取り組み方や進度を子どもに委ねる時間を設定し、子ども自身が課題を持ち、主体的に取り組む姿につなげることを願って、自由進度学習にトライしました。

理科『電じ石のはたらき』（5学年だよりから）

今回、自由進度学習という方法を取り入れて電磁石について調べました。こちらから与える課題を日々こなすような学習ではなく、自分で学習計画を考え、自分のペースで学習を進めていく学習方法となり、好きな実験から取り組む子もいたり、内容のまとまりごとに取り組んでいこうとする子がいたりと様々でした。

実際に授業を進める中で、子どもたちは「4時間実験の時間があるから、1時間は〇〇をして、2時間目は…」「前の授業で終わらなかったから、続きからやろう」「思ってた結果と違う?もう一回やってみよう」など、限られた時間の中で、課題解決に向けて思考をフル回転させていました。教師が多くを語らずとも、子どもたちはよく考え、自分の力で解決していくのだと、驚かされました。初めての単元、初めての学習方法に多少の不安はあったようですが、子どもの慣れとチャレンジ精神によって乗り越えました。

AIの進化により、テストの点数だけでは表れにくい力をどう育んでいくかが、この先の世界が抱える課題となるようです。今回は電磁石のことについて詳しくなることはもちろん、「学び方」に焦点を当てて取り組みました。ぜひ、子どもたちから感想を聞いてみてください。



3 明科小中三校 『総合的な学習の時間推進連絡会』 10月6日(月)

総合的な学習の時間推進に関わる小中三校の先生方が、明科中学校において、連絡会を行いました。『総合的な学習に関わる各校の実情と連携』について懇談をしました。「心ゆくまで探究し、人や地域とのつながりのよさを感じる子ども」を“目指す子どもの姿”とし、「地域に根ざした探究的な学び」に向けた取組の推進を図っていきましょう。